

2016年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営戦略特殊研究 I	1年次春学期 (1セメスター)	2	山崎喜代宏
授業概要			
経営戦略論に関連するテーマについて、先行文献や実地調査などを通して、深い専門知識と新しい知見を得るための研究活動を行う。			
授業目標(到達目標)			
本演習では、経営戦略論に関する学術的知識を深め、博士学位論文を作成していく。			
授業方法			
文献調査、インタビュー、アンケートなどを通じて研究を進め、その進捗状況について報告、議論し、博士学院論文を作成していく。			
成績評価方法・基準			
報告内容			
教科書・教材・参考文献 等			
必要に応じて指導			
質問への対応(オフィスアワー等)			
講義、オフィスアワー、電子メールで対応			
授業計画			
	項目	内容	
1	研究指導	報告、議論、指導	
2	研究指導	報告、議論、指導	
3	研究指導	報告、議論、指導	
4	研究指導	報告、議論、指導	
5	研究指導	報告、議論、指導	
6	研究指導	報告、議論、指導	
7	研究指導	報告、議論、指導	
8	研究指導	報告、議論、指導	
9	研究指導	報告、議論、指導	
10	研究指導	報告、議論、指導	
11	研究指導	報告、議論、指導	
12	研究指導	報告、議論、指導	
13	研究指導	報告、議論、指導	
14	研究指導	報告、議論、指導	
15	研究指導	報告、議論、指導	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
積極性と自主性が求められます。自らの頭と手を動かしてください。自らの研究を勧めるために事前の学習・研究と、研究指導に基づいて、各自で研究をさらに勧めていく事後学習・研究が必要になります。			

2016年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営戦略特殊研究Ⅱ	1年次秋学期 (2セメスター)	2	山崎喜代宏
授業概要			
経営戦略論に関連するテーマについて、先行文献や実地調査などを通して、深い専門知識と新しい知見を得るための研究活動を行う。			
授業目標(到達目標)			
本演習では、経営戦略論に関する学術的知識を深め、博士学位論文を作成していく。			
授業方法			
文献調査、インタビュー、アンケートなどを通じて研究を進め、その進捗状況について報告、議論し、博士学院論文を作成していく。			
成績評価方法・基準			
報告内容			
教科書・教材・参考文献 等			
必要に応じて指導			
質問への対応(オフィスアワー等)			
講義、オフィスアワー、電子メールで対応			
授業計画			
	項目	内容	
1	研究指導	報告、議論、指導	
2	研究指導	報告、議論、指導	
3	研究指導	報告、議論、指導	
4	研究指導	報告、議論、指導	
5	研究指導	報告、議論、指導	
6	研究指導	報告、議論、指導	
7	研究指導	報告、議論、指導	
8	研究指導	報告、議論、指導	
9	研究指導	報告、議論、指導	
10	研究指導	報告、議論、指導	
11	研究指導	報告、議論、指導	
12	研究指導	報告、議論、指導	
13	研究指導	報告、議論、指導	
14	研究指導	報告、議論、指導	
15	研究指導	報告、議論、指導	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
積極性と自主性が求められます。自らの頭と手を動かしてください。自らの研究を勧めるために事前の学習・研究と、研究指導に基づいて、各自で研究をさらに勧めていく事後学習・研究が必要になります。			

2016年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営戦略特殊研究Ⅲ	2年次春学期 (3セメスター)	2	山崎喜代宏
授業概要			
経営戦略論に関連するテーマについて、先行文献や実地調査などを通して、深い専門知識と新しい知見を得るための研究活動を行う。			
授業目標(到達目標)			
本演習では、経営戦略論に関する学術的知識を深め、博士学位論文を作成していく。			
授業方法			
文献調査、インタビュー、アンケートなどを通じて研究を進め、その進捗状況について報告、議論し、博士学院論文を作成していく。			
成績評価方法・基準			
報告内容			
教科書・教材・参考文献 等			
必要に応じて指導			
質問への対応(オフィスアワー等)			
講義、オフィスアワー、電子メールで対応			
授業計画			
	項目	内容	
1	研究指導	報告、議論、指導	
2	研究指導	報告、議論、指導	
3	研究指導	報告、議論、指導	
4	研究指導	報告、議論、指導	
5	研究指導	報告、議論、指導	
6	研究指導	報告、議論、指導	
7	研究指導	報告、議論、指導	
8	研究指導	報告、議論、指導	
9	研究指導	報告、議論、指導	
10	研究指導	報告、議論、指導	
11	研究指導	報告、議論、指導	
12	研究指導	報告、議論、指導	
13	研究指導	報告、議論、指導	
14	研究指導	報告、議論、指導	
15	研究指導	報告、議論、指導	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
積極性と自主性が求められます。自らの頭と手を動かしてください。自らの研究を勧めるために事前の学習・研究と、研究指導に基づいて、各自で研究をさらに勧めていく事後学習・研究が必要になります。			

2016年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営戦略特殊研究IV	2年次秋学期 (4セメスター)	2	山崎喜代宏
授業概要			
経営戦略論に関連するテーマについて、先行文献や実地調査などを通して、深い専門知識と新しい知見を得るための研究活動を行う。			
授業目標(到達目標)			
本演習では、経営戦略論に関する学術的知識を深め、博士学位論文を作成していく。			
授業方法			
文献調査、インタビュー、アンケートなどを通じて研究を進め、その進捗状況について報告、議論し、博士学院論文を作成していく。			
成績評価方法・基準			
報告内容			
教科書・教材・参考文献 等			
必要に応じて指導			
質問への対応(オフィスアワー等)			
講義、オフィスアワー、電子メールで対応			
授業計画			
	項目	内容	
1	研究指導	報告、議論、指導	
2	研究指導	報告、議論、指導	
3	研究指導	報告、議論、指導	
4	研究指導	報告、議論、指導	
5	研究指導	報告、議論、指導	
6	研究指導	報告、議論、指導	
7	研究指導	報告、議論、指導	
8	研究指導	報告、議論、指導	
9	研究指導	報告、議論、指導	
10	研究指導	報告、議論、指導	
11	研究指導	報告、議論、指導	
12	研究指導	報告、議論、指導	
13	研究指導	報告、議論、指導	
14	研究指導	報告、議論、指導	
15	研究指導	報告、議論、指導	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
積極性と自主性が求められます。自らの頭と手を動かしてください。自らの研究を勧めるために事前の学習・研究と、研究指導に基づいて、各自で研究をさらに勧めていく事後学習・研究が必要になります。			

2016年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営戦略特殊研究 V	3年次春学期 (5セメスター)	2	山崎喜代宏
授業概要			
博士學位論文を執筆する。			
授業目標(到達目標)			
本演習では、これまでの研究に基づき博士學位論文を執筆する。			
授業方法			
これまでの研究に基づき、學位論文の構成を考え、學位論文を執筆するよう指導する。毎回の講義では、進捗状況を報告し、議論しつつ研究指導する。			
成績評価方法・基準			
報告内容			
教科書・教材・参考文献 等			
必要に応じて指導			
質問への対応(オフィスアワー等)			
講義、オフィスアワー、電子メールで対応			
授業計画			
	項目	内容	
1	研究指導	報告、議論、指導	
2	研究指導	報告、議論、指導	
3	研究指導	報告、議論、指導	
4	研究指導	報告、議論、指導	
5	研究指導	報告、議論、指導	
6	研究指導	報告、議論、指導	
7	研究指導	報告、議論、指導	
8	研究指導	報告、議論、指導	
9	研究指導	報告、議論、指導	
10	研究指導	報告、議論、指導	
11	研究指導	報告、議論、指導	
12	研究指導	報告、議論、指導	
13	研究指導	報告、議論、指導	
14	研究指導	報告、議論、指導	
15	研究指導	報告、議論、指導	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
積極性と自主性が求められます。自らの頭と手を動かしてください。自らの研究を勧めるために事前の学習・研究と、研究指導に基づいて、各自で研究をさらに勧めていく事後学習・研究が必要になります。			

2016年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士後期課程シラバス

科目名(副題)	開講年次(セメ)	単位	担当者名
経営戦略特殊研究VI	3年次秋学期 (6セメスター)	2	山崎喜代宏
授業概要			
博士學位論文を執筆する。			
授業目標(到達目標)			
本演習では、これまでの研究に基づき博士學位論文を執筆する。			
授業方法			
これまでの研究に基づき、學位論文の構成を考え、學位論文を執筆するよう指導する。毎回の講義では、進捗状況を報告し、議論しつつ研究指導する。			
成績評価方法・基準			
博士學位論文			
教科書・教材・参考文献 等			
必要に応じて指導			
質問への対応(オフィスアワー等)			
講義、オフィスアワー、電子メールで対応			
授業計画			
	項目	内容	
1	研究指導	報告、議論、指導	
2	研究指導	報告、議論、指導	
3	研究指導	報告、議論、指導	
4	研究指導	報告、議論、指導	
5	研究指導	報告、議論、指導	
6	研究指導	報告、議論、指導	
7	研究指導	報告、議論、指導	
8	研究指導	報告、議論、指導	
9	研究指導	報告、議論、指導	
10	研究指導	報告、議論、指導	
11	研究指導	報告、議論、指導	
12	研究指導	報告、議論、指導	
13	研究指導	報告、議論、指導	
14	研究指導	報告、議論、指導	
15	研究指導	報告、議論、指導	
履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)			
積極性と自主性が求められます。自らの頭と手を動かしてください。自らの研究を勧めるために事前の学習・研究と、研究指導に基づいて、各自で研究をさらに勧めていく事後学習・研究が必要になります。			